

R2 足立区自立支援協議会 第1回精神医療部会

事前アンケート集計の結果について

このたびは事前アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただいた報告を以下の通りまとめましたので、ご参照ください。

Q1 大規模水害に備えて、精神障がい者に対する支援について日頃から取り組まれていることはありますか？

A

- 電子カルテに入力されている患者さんの基本情報（Tel、住所、関係機関、家族状況）を更新し整備している。（病院関係者）
- 同規模医療機関と大規模災害時には相互応援協定を締結しており、被災した場合は人員・物資支援、患者の受け入れを行うこととしている。共通の災害対応マニュアル作成、職員交換研修、模擬援助訓練、装備備品の準備をしている。（病院関係者）
- 院内…年2回の避難訓練と持ち出しリストのチェック 訪問看護…利用者と避難場所の確認を行うと共に緊急連絡先を伝達する。（病院関係者）
- DC室で、水・米・紙のコップ、皿、器、割箸・サランラップ・タオル類・エアーポットを備蓄している。（病院関係者）
- グループホーム入居者に『洪水・災害時避難計画書』を配付、説明。状況に応じてその都度説明を繰り返している。（GH関係者）
- 障害者手帳に処方されている薬のリストを入れている。日常の薬の飲み残しや頓服薬はある程度備蓄している。スマホの充電器は必要。スマホがあればなんとかなる。（ピアサポーター）
- 東京都には、東京都災害医療支援チーム（東京DMAT）があり、大規模災害時の活動が想定されている。センター職員も隊員登録があり、本部の支持のもと、活動する。（公立施設関係者）
- 現在、水害に備えてのBCPを作成中である。連絡用名簿については災害時のものが適用可能である。（障がい者施設関係者）

Q2 大規模水害の発生が予想される数日前からはどのように対応しますか？

A

- 3日前からデイケア・訪問看護など各所で以下のことを伝え確認
 - ・日常的に災害袋を作り、そこには薬または処方箋コピーを入れるようすすめている。
 - ・緊急避難場所の確認やそこで集団ですごすのが負担になる場合はスタッフに申し出ることなど、具体的な動きを伝えている。（病院関係者）

- 2019年に発生した台風19号対策をまとめ、大規模水害が想定される場合は、施設ごとの対応表を作成している。例)職員の勤務調整、備品の移動、各サービスの中止(ディケア等)を行うこととしている。(病院関係者)
- 水害発生が想定された時点より院内のテレビ・ラジオを受信したままにし、天気予報を細かくチェックし、早めに患者誘導と食品、水、薬、処置道具を上の階へ上げる。(病院関係者)
- 台風当日及び前後の日に受診予定があれば、早目の受診をするようDCメンバーには確認をしている。(病院関係者)
- ①残薬の確認、臨時受診をして薬をもらってくる
②情報収集を行い、各メンバーと情報の共有を行う。
③洪水・災害時避難計画書の再確認(内容…ハザードマップ、災害に関する情報の入手方法、災害時の連絡先一覧、避難を開始する時期と持ち物、避難を開始する際の心得、大雨災害情報について) *備蓄品や非常用品に不足があれば購入(GH関係者)
- 病院に1ヶ月分の内服・外用薬をもらいに行く。パニックを起こしてしまう人をどうするのか?足立区の「Aメール」のようなもので、逐次状況を把握できるといい。アイマスクと耳栓は必要。(ピアソーター)
- 精神保健係と相談をし、臨時休館etcの対応を検討する。(障がい者施設関係者)

Q3 上記1, 2の実行に向けた課題はありますか?

A

- 水害発生の情報を伝えることで、不安定になる患者さんもいる為、個別の配慮が必要。病院での対応ができるよう職員確保のシミュレーションも行っている。(病院関係者)
- 各サービス(ディケア、往診)につながっている利用者は生活状況が把握できており、事前の対応について協議しやすいが、外来通院者のサポート体制については対応方法を検討しておく必要があると考える。(病院関係者)
- 夜間に水害発生が起こった場合に職員の人数が少ない為、スムーズな避難が行えるかが課題である。(病院関係者)
- 単身アパート生活者のメンバーで、ペットボトルの水(2ℓ)が18本あり、期限切れの物もあり、備蓄は良いが、その使い方にも指導がいる。(病院関係者)
- ①各メンバーが不安になり落ち着かなくなるので、より個別的な対応が必要になる。
②1つ1つ出来る限り的確な指示が出せるように情報収集する。(GH関係者)
- 向精神薬のそろっている薬局が少ないので、「ここに行けば、おくすり手帳を提示すれば調剤してくれる」という医療機関(薬局)のリストがほしい。足立区として抗不安薬は多めに備蓄してほしい。(ピアソーター)
- 登録者全てに閉館を伝えることが難しいが、HP等でできる限り早く周知できるようにしていくなどの工夫は必要と考える。(障がい者施設関係者)